

## 2024年BSサミット事業協同組合 新春賀詞交歓会を開催

# モビリティサービス業へと進化する BSサミットの新しい形が整う一年へ

2024年1月10日(水)、東京都港区のANAインターコンチネンタルホテル東京にて「2024年BSサミット事業協同組合新春賀詞交歓会」を開催。政界をはじめ関係者からの来賓(2面・表参照)、損害保険会社、ロードサービスアシスタンス会社、協賛会社が多数参加した本会冒頭の挨拶で、磯部君男理事長は「個々の施策が融合し、新たなうねりとなって新生BSサミットが進化を遂げる」と、飛躍の一年とする意気込みを語った。

### 磯部理事長の挨拶

### 自動運転の拡大とEVの進展



昨年10月に行われたジャパンモビリティショーで何を感ぜられたでしょうか。私は、これまで独立した移動手段と「モビリティサービス業」の未来を暗示する展示会だったと思います。昨年12月29日に閣議決定された令和6年度の予算から自動運転関連を抜粋してみますと、自動運転レベル4の法規要件の策定に、対前年1・3倍の2億3100万円が割り振られるなど、自動運転の拡大を後方支援していく意向を感じられます。



また車両の技術開発において電動化はますます加速し、コネクテッド化やSDVの導入によって車が提供する価値は多様化を続けていくでしょう。カーボンニュートラルに向けた取り組みも世界中で加速し、アフターマーケットの分野でもCO<sub>2</sub>を削減するための具体的な取り組みが求められることとなります。

自動車の電動化の流れは、現代の自動車メーカーにとって最重要経営課題のひとつであり、これまでのEV

直近の22年度の事故整備売上高は、2年ぶりに1兆円を上回り、1兆43億円となりました。先進運転支援システムに使われるカメラやミリ波レーダー、エミシング作業などにより平均単価も増加しています。

一方、事故整備売上高を見ますと、ピーク時の1998年度の3分の2まで減少しています。勿論、事故そのものの減少は喜ばしいことですが、車体整備需要の減少が続いており、事実上真剣に向き合っている事業者は少なく、事故減少に寄与する運転支援技術ですが、その性能維持に欠かすべからぬのが、2020年に始まった特定整備制度です。BSサミット組合員の取得率は100%、エミシングに対応できる体制をすでに整えています。そして今年10月1日からOBD検査がスタートします。BSサミットとして

**国内整備業界概況②**

特定整備制度 BSサミット組合員取得率: 100%

2024年10月1日: OBD検査スタート

整備・钣金、全組合員と協力しながら地域連携という枠組みで対応

分業整備に強い組合員工場 / 地域における組合員のネットワーク化の推進 / 車体整備に強い組合員工場

は、整備・钣金全組合員の皆様の協力しながら、地域連携という枠組みを活用してしっかりと対応してまいります。市場環境は日々変化を続けています。この市場変化に対応するためには、我々自身も変化を恐れず進化を続けなければなりません。

**BSサミットの活動④**

エビデンス / アーカイブ / トレーサビリティ

現在提供中のエビデンスシステムの大規模改良を行い、デジタルの利活用の第一歩となるシステムの開発を開始

最後にありますが、これまで矢継ぎ早に発表してきた個々の施策が融合し、新たなうねりとなって新生BSサミットがこれまでにない進化を遂げる、そのスタートとなります。モビリティサービス業へと進化するBSサミットの新しい形が整う一年となるように、ここにご参加の皆様と共に未来に向かって邁進していきたいと思っております。本日はありがとうございました。

## ブロードリーフの3つのDXソリューション

**電子帳簿保存法対応は、おまかせ!**

**DX 電帳**

電帳DXなら、作成した電子帳票が自動登録されるので、スムーズかつ簡単に電子保存をすることが可能になります。

**電帳DXで業務をまるごと電子化**

ペーパーレスで事務手続き! (保管スペース削減)

検索・閲覧が容易なので書類を探す時間を大幅短縮!

書類の郵送にかかる手間・コストを削減!

**電子帳簿保存法、未対応の方必見!**

導入ユーザーインタビュー動画

株式会社 REFFLECT 様 (4分9秒)

**クラウド型钣金工場業務支援システム**

**Re Repair.c**

ブロードリーフは新しいクラウドサービスを本格リリースしました。クラウドだからできる拡張性の高いアプリケーションは業務に革新をもたらします。

らくらく導入、かんたん操作。「日常業務の効率化」をサポート!

直感操作 / 伝票先行 / 商談管理

事業内容・事業規模にあった商品パックを用意しています!

軽钣金のみの钣金工場 / メカニック3人以下の钣金工場 / 大規模な钣金工場

**ホームページ作成はおまかせ!**

**整備・钣金 工場専用! 初めての方でも簡単!**

あんしん! / カンタン! / 便利!

ホームページの更新で、検索結果の順位&信頼性アップが目標です!

**ここがスゴイ! 3つの特長**

- 様々な使い方に! ホームページを任意の代行に活用!
- みだりな編集が可能な! 特別な知識がいりません! 直線上でダイレクト編集!
- 更新サポート付き! 2か月に1回の更新代行サービス付きで安心!

中古車情報の掲載 / サービス内容掲載 / SNSとの連携など

クリック操作ひとつでホームページ制作! TEL・メールでのお問合せも対応

文字内容の修正 / 掲載写真の変更 / 価格表の変更など

サンプルページはこちら。是非ご覧ください!

ホームページ構築・運用ソリューション

**BL Homepage** プレミアム

モビリティサービスのリーディング組織として「DMS」の構築と「DRP」の再構築を推進

今年も多数のご来賓に参加いただき  
盛會にて新たな一年をスタート!

第一部 全体会議

2024年新春賀詞交歓会の第一部・全体会議は、増田副理事長による開会の辞で幕を明けました。3,800名を超える方々に列席いただいた本会は、基本宣言・組織理念・活動方針の唱和から、磯部理事長の挨拶(一面参照)と続いたのちに、ご来賓の皆様からご挨拶を賜りました。

まずは、安全な自動車の車体を確保する議員連盟(以下、議員連盟)・顧問、BSサミット顧問の中川秀直先生から「シンプル、シングル、スモール、サスティナブルがこれからのキーワードだと思っています。近く自動車もそういう大きな流れで進んでいくのではないかと思います。BSサミット組合員の皆様には、新しい前進、転換の一年となるように心よりお祈り、また願いたいと思っております」と、あたたかいお言葉を頂戴しました。

続いて、議員連盟・事務局長を務める自由民主党参議院議員 赤池誠章先生(自由民主党政務調査会副会長)からは「少子化の流れの中でどの産業も人手不足が叫ばれてい



来賓挨拶を行う株式会社オートバックセブン小林喜夫已取締役会長

ます。自動車産業も例外ではないかと。外国人材の活用も見直そうということも議論を続けておりますが、根幹ではやはり日本人の若い優秀な方々に、自動車産業の将来性を見出していただきたい。そんな思いの中で大学・高専、そして高等学校と、私自身訪問をさせていただいているところでございます」と、ご協力の姿勢を示して頂きました。

第一部 懇親会



株式会社JARA取締役会長北島宗尚様にご乾杯のご発声をお願いした

2020年にBSサミットと包括的業務提携を締結した株式会社オートバックセブンの小林喜夫已取締役会長は「23年を振り返ってみますと、私たち自動車業界はつらい痛みを受けた。業界自体が傷ついたのである。私には思っています。今一度マーケットをしっかりと見て、皆さんと一緒に変わっていくしかないと思っております。安全なモビリティサービスを実現する。そして、新しいモビリティのインフラを私

も皆さんと一緒にやっていっていきたく思います」と、連携を深めていく方針を述べられました。

さらに、ご列席いただいた損害保険会社、ロードサービスアシスタンス会社の代表の方々からも、BSサミットへ

のご期待や激励に溢れた温かいお言葉を賜り、組合員一同の引き締まる思いを抱くこととなりました。

休憩を挟み行われた第二部の懇親会にも、引き続き多数の来賓の皆様にご参加いただき華やかな会として懇親を深めることができました。黒木専務理事は開会の辞で、「運がいい人の特徴。①適切なストレス、②あえてリスクの道を選ぶ、③他人のために対価を求めず行動する人だと言及され、新組合員に向けて「ぜひBSサミットのボランティア活動を通じて、業界のために、また地域の仲間のために活動することがめざらぬ」と、自分に跳ね返ってくるというのを信じて頑張りましょう」と話しました。

そして懇親会でもまた、ご来賓の先生方にご挨拶を賜りました。はじめに議員連盟・副会長 公明党参議院議員 西田実仁先生にご登壇頂き「今年ほどにいくほどに賃上げをして、そして経済の好循環をつくっていくとまたないチャンスだ

たわけで、本来であれば西田先生にやっていたら筋が通ると思いますが、細田先生は私の同僚・先輩であり大変親しくさせていただいており、そういう関係もあって磯部理事長からお声がけいただきましたので、皆さんのお役に立てるかわかりませんが、一生懸命頑張らせてまいりたいと思っております」とのお言葉を頂戴致しました。

続いて、議員連盟・幹事 公明党参議院議員 伊藤渉先生より「一人がますます足りなくなっているのが懸念です。整備を誰が担っていくかということが大きな問題になってくると思います。そうした中でBSサミット加盟各社様のネットワークが、必ず自動車業界で再評価をされ、その適正な評価も含めて、ますます光が当たる年になっていくであろうと私は推測をしております。一人でごさいます」と期待のお言葉を頂戴しました。

続いては、国土交通省物流次官の「安全な自動車の車体を確保する議員連盟」発足時より8年間に渡り会長を務めてくださった前参議院議員 細田博之先生が昨年11月10日に逝去されたことを受け、新たに議員連盟・会長を務めていただく運びとなった自由民主党参議院議員 塩谷立先生にご登壇頂き「これまで細田先生に頑張らせていただいたお礼、なかなか直接的には皆様方とお会いする機会がなかつ

政界からのご来賓



中川秀直先生

塩谷立先生

西田実仁先生

伊藤渉先生

赤池誠章先生

政界からのご来賓

自由民主党	安全な自動車の車体を確保する議員連盟 会長 衆議院議員	塩谷 立先生
自由民主党	元自由民主党幹事長 元内閣官房長官 自由民主党自動車議員連盟 最高顧問 安全な自動車の車体を確保する議員連盟 顧問 BSサミット顧問	中川 秀直先生
公明党	参議院副会長 選挙対策委員長 税制調査会 会長 安全な自動車の車体を確保する議員連盟 副会長 自動車アフターマーケット議員懇話会 幹事長 参議院議員	西田 実仁先生
公明党	政務調査会 会長代理 元財務副大臣 安全な自動車の車体を確保する議員連盟 幹事 自動車アフターマーケット議員懇話会 副幹事長 衆議院議員	伊藤 渉 先生
自由民主党	元内閣府副大臣 政務調査会 副会長 安全な自動車の車体を確保する議員連盟 事務局 局長 参議院議員	赤池 誠章先生

官庁関係のご来賓

国土交通省	物流・自動車 局長	鶴田 浩久 様
国土交通省	物流・自動車局次長	久保田秀暢 様
国土交通省	物流・自動車局 自動車整備課 整備課長	多田 善隆 様
国土交通省	物流・自動車局 自動車整備課 整備事業指導官	村井 章展 様

問1 次の空欄を埋めて式を完成させよ。

CO<sub>2</sub>の少ない移動 =  ×  ×

サステナブルな社会。それはお客様、パートナーとともに描く未来です。

# 新たに指定整備系の組合員を迎え入れ 本格的にモビリティサービスの全国ネットワーク構築に進む

新組合員オリエンテーションを開催



BSサミット新春賀詞交歓会 翌日の2024年1月11日(木)、東京国際フォーラムにて新組合員オリエンテーションを開催いたしました。前日の賀詞交歓会より新たに指定整備系の組合員が入会したことを受け開催された本会には、新組合員28社だけでなく、全国各地で新組合員が加わることを想定すると、今後はエリア毎にオリエンテーションの開催が必要となるため、本部役員や各エリアのプロック長、支部長も参加し、オリエンテーションの内容を学ぶ場と致しました。

## 積極的に組織に関わることを促進

オリエンテーションは冒頭、藤野副理事長による開会の挨拶からスタートし、基本宣言の唱和、本部役員との紹介及び新組合員の紹介と続きました。その後、磯部理事長から2023年度活動方針と進捗状況についてVTRにて直接説明がありました。磯部理事長は「BSサミットは自ら考え、議論し、行動し、その実りを信頼できる仲間と分かち合う事業協同組合です。いわゆる、フランチャイズチェーンやポランタリーチェーンとは異なり、本部の施策を待っているだけでは何も変わりません。自ら考え、皆で知恵を絞って、リスクを覚悟



冒頭挨拶を行う藤野副理事長

## 委員会活動の案内

続いて、委員会活動の案内が各委員長(一部代理)から行われました。次世代自動車研究委員会からは「今までは車体整備向けの活動が主でしたが、今後は整備組合員にも有益な情報を提供していきたいです。また教育統合プロジェクトとも連携し、OBD点検研修、ネットワークセキュリティ研修、エビデンスシステムのバージョンアップなどを検討しております」と、今後の活動方針について発表がありました。フロント教育委員会からは「お客様との接点において継続的にご紹介をいただくためにはどのような接客・接遇が重要かを研修やユーザーアンケートを通して繰り返し学んでいきます。技術力とCSはどちらも成立する、それがBSサミットの教育の根底にある

「具体的な行動を自ら起こすこと、これまでBSサミットは成長し、拡大してきました。新組合員の皆様にはこの点はしっかりとご確認いただきたいと思えます」と、積極的に組織に関わることを促されました。その後、石井副理事長お

「シエアを上げていくために提携アシスタンス会社に働きかけています。新組合員でロードサービスを行っている事業者の皆様には、既存組合員への依頼の集中化にご協力いただきたい」と具体的な依頼が行われました。梅川に認められる整備工場拡充委員会からは「国内外の自動車メーカーから認められる整備事業団体を自指すため、まずは全国のネットワークを充実させるよう、整備事業者へのアプローチを計画的に行い700社体制を目指します」とさらなる拡大へ向けた意気込みが述べられました。

教育統合プロジェクトからは「当プロジェクトは本年度設置された新しいプロジェクトで、来期からの委員会への移行を見据えて活動をしていきます。プロジェクトスタッフはもちろん各委員会と連携しながら組合員にとって有益な情報を発信すべく活動をしてまいります」と来期より新たな委員会として設置されることを告知されました。二世会(LMG)は「二世会あらためてLMG(リーディング・マネージャーズ・グループ)は地域を超えて情報交換や勉強会を開催しています。混沌としたアフターマーケット業界の中で発生する日々の諸課題に対して、努力を重ねる会員同士の切磋琢磨の場です。年間問わずぜひご入会くだ

## 各委員会の取り組みについての説明も行われた



さい」と、共に学ぶ仲間を募りました。

## 地域連携やe-Fuelに関する講演

休憩を挟み行われたのが、BSサミットアドバイザーを務める松永博司氏(株式会社ジェイシーレンナンス)による、地域連携についての講演です。松永氏は、地域連携の重要性と進め方のポイントについて、自動車アフターマーケット市場の変容として自動車の進化とルールの変化への対応と順を追って説明し、最終的に勝ち残っていくための体制づくりをいかに進めていくのかについて言及されました。

そして最後のプログラムは、KPMGコンサルティング株式会社の森木光氏による記念講演「なぜe-Fuelが求められるのか エンジン車とe-Fuelの可能性」でした。森木氏は、市場動向やe-Fuel(合成燃料)についてなど、様々な角度からカーボンニュートラル時代に必要とされるe-Fuelが求められるのかを解説されました。森木氏が冒頭に話されたように、最初は話し込んでいた聴講者が徐々に話に引き込まれていき、最終的には自然



記念講演を行うKPMGコンサルティング株式会社 森木光氏



地域連携について講演を行うBSサミットアドバイザー松永博司氏。9時30分から始まり16時まで、長時間にわたり行われた新組合員オリエンテーションは藤野副理事長による開会の挨拶で閉幕しました。BSサミットがどのような想いで、どんな活動を行っているのか、事細かに説明を受けた新組合員の皆様にとっては、とても濃密で刺激的な一日になったことと思われまふ。新たに新組合員を迎え入れたBSサミットは、今後も業界のリーディング組織として挑戦を続けてまいります。引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願ひ申し上げます。

2024年1月度 新規加入組合員		
業態	支部	会社名
整備	北海道第2	(有)アウトバーン 神居店
整備	新潟	山崎工業(株)
整備	新潟	渡辺自動車整備(株)
钣金	茨城	堀江自動車工業(株)
钣金	茨城	和興自動車(株)
整備	千葉	(有)中村自動車
整備	千葉	(有)ダイハツ勝浦センター
整備	埼玉	(株)サンユー
整備	静岡	(株)大平モーターズ
整備	愛知	(株)リースカーサービス・キタガワ
整備	愛知	大海自動車(株)
整備	愛知	(株)旭モーターズ
整備・钣金	愛知	みつまる自動車(株)
整備	愛知	(有)神宗モーターズ
整備	三重	(有)GARAGE EAGLE
整備・钣金	三重	(株)オートセンターモリ
整備	富山	(株)ラッドライド
整備	石川・福井	小浜マイカー販売(株)
整備	石川・福井	(株)北陸山川モーターズ
整備	大阪	(株)ひまわりコーポレーション
整備	広島第1	(株)サコダ車輛
整備	山口	(株)ヴィーテック
整備	愛媛・高知	(有)カートピア大洲
整備	愛媛・高知	(株)ガリレオコーポレーション
整備	愛媛・高知	(株)OK.G(オーケーグランデ)
整備	愛媛・高知	(有)くりた自動車
整備	福岡	窪田自動車工業(株)
钣金	西九州	(株)フジックス

次世代自動車研究委員会 活動報告

技術研修動画「コンプライアンス遵守と正しい修理の未来」の配信開始



次世代自動車研究委員会(熊本匡史委員長)は、次世代自動車修理の知識習得に繋げる狙いで「コンプライアンス遵守と正しい修理の未来」と題した研修動画を制作しました。

研修には千葉支部/株式会社車検・钣金デポの上松慎知社長を講師に、アシスタントに同社の来栖恭輔トレーナーを迎え入れ、次世代自動車研究委員会である香川・徳島支部/浦車体整備工場有限会社の浦彰彦代表取締役にもお越し頂き、約45分(3本に分割)に渡る研修の様相を動画収録いたしました。

エーミング作業場の土間について

まずは過去の動画研修の第1章、第2章で取り上げられたエーミング作業場の土間についてのおさらいです。研修用に用意した車両(50プリウス)の場合、修理書通りの方法でミリ波レーダーのエーミング作業を行う際に、ミリ波ユニットの中心(エンブレム中

心)と三角リフレクターの中心の高さを合わせて、そこから3m先の設置位置に移動させる方法を取りますが、この作業方法は土間が水平であることを前提としています。つまり土間が水平でなければ高さにズレが生じる危険性を孕んでいると言えます。

今回は、実際に初石钣金のエーミング作業場の土間を簡易的なツールを使用して測定してみました。ちょっとした工夫で自社の作業場の環境を測定することができ、作業の精度向上に役立たせることが可能です。なお測定した結果今回は、ほぼ水平な土間であることが確認できました。

作業環境と機材

次に過去の動画研修の第3章、第4章で説明した作業環境や機材について



左から【香川・徳島支部、次世代自動車研究委員】浦車体整備工場有限会社代表取締役 浦彰彦氏、【千葉支部・次世代自動車研究委員長】株式会社初石钣金 代表取締役 熊本匡史氏、【千葉支部】株式会社初石钣金 工場長 長谷川保氏、【千葉支部】株式会社車検・钣金デポ 代表取締役 上松慎知氏

です。この車両でミリ波レーダーのエーミングを行う場合、前方5mの反射物がない空間が必要なのですが、この作業場の環境が本当にミリ波レーダーエーミングに適した環境なのかを特殊な機械を用いて検証してみました。今回使用する機械は、ミリ波レーダーの反射強度を可視化できるもので、作業環境内に金属があると乱反射を起こし画面上に表示されるという仕組みです。上松社長は実際に作業場の環境を測定しターゲットである三角リフレクター以外に反射物を表示させることで、自動車メーカーが修理書において「金属物のない空間」と記載しているかの意味を説明されました。

さらに実際に販売されている汎用ターゲットの中には、三角リフレクターを支える軸が金属で作られているものもあり、その場合にミリ波レーダーからはどのように見えているのかを可視化することで、機材選定の重要性について説明されました。

重要なのは電子制御装置整備のルールと理屈

一方で、先に挙げたように土間に高低差がある場合や柱や機材などでミリ波レーダーエーミングに適した環境を工場内で確保しづらい場合はエーミングを行えないのかという問題に対して、上松社長は「これまで説明を行ってきた電子制御装置整備のルールと理屈さえ理解していれば、少しの工夫を加えることで今ある条件の中でも、

自社で対応できることは多くあります。そうすることで、今まで自社では難しいと諦めていたことも自社で行うことが可能になり、対応力が上がるのではないのでしょうか」と話されます。

動画の最後に次世代自動車研究委員の浦社長が「BSサミットの組合員工場全社が自社の工場でエーミングができるようになれば最高かと思えます」と、講師を務めた上松社長への感謝の言葉と組合員工場各社への期待を述べられました。

BSサミットの次世代自動車研究委員会では、今後ますます進化が予想される次世代自動車の修理・整備に対応していくために、今後も現場に即した研修を企画・運営し、組合員工場のレベル向上に寄与してまいります。



動画を通過して、工夫を加えることで自社対応できることが多くあることを伝えた。作業環境により結果が大きく変わることを伝えた。



【質問】スバルのレガシー、アイサイトでのカメラエーミングについて。この工場ではエーミングを行うとエラーが出てしまうが、通常の工場で行うと正常にエーミングが出来るという場合がある。なぜなのでしょう？

二世会(LMG) 活動報告

二世会改めLMGが「次世代モビリティ」をテーマにオンラインセミナーを開催

2024年1月16日(火)、二世会あらためLMG(リーディング・マネージャーズ・グループ)のオンラインセミナーが開催されました。今回のセミナーは、メンバーを4つに分けた中のAグループが担当する「次世代モビリティ」をテーマに企画されたものでした。前半は「EDR(イベント・データ・レコーダー)/CDR

(クラッシュ・データ・リトリーバル)」についてCDR-JAPAN 株式会社ブリッジ代表取締役・藤田隆之氏をお招きしてお話いただき、後半には「SDV(ソフトウェア・ディファインド・ビークル)」についてAグループのメンバーである北海道第一支部・サッポロ日昭自動車株式会社 代表取締役 赤地勇己氏が講師となり発表を行いました。

新しい形でのEDRデータ活用について

セミナー前半を担当する藤田氏は「CDR認定テクニシャン 将来への活動計画について」というタイトルで30分程の講演を行いました。藤田氏は、EDRとCDRについて簡単な説明をされた後に、メインテーマである「今後期待される活用法。について「損害保険会社や科警研、全国の警察組織などが、事故の検証を数値的根拠をもとに証明し解析を行うなどの活用法が主流ですが、中古車市場や事故修理市場においても活用できるのではないかと色々な提案を行っているのが現在であります」と解説されました。事故調査

という今あるマーケットではなく、お客様と対峙する際にEDRのデータを活用するという新たなマーケットに可能性が見出せるテーマの講演となり、質疑応答でも「CDRテクニシャンとアナリストで行えることの違い。や「機材や更新費用について。など具体的な質問が寄せられ、注目度の高さが伺えました。

相手を尊重し理解し合う関係の構築が必要

休憩を挟んで行われた後半のプログラムでは、「SDVで変わる車への思

考と経営~Software Defined Vehicleの浸透~」と題した講演が行われました。講師を務める赤地氏は「SDVに限らず、次世代自動車の普及に対して早いも遅いも言っていられない。100年に一度と言われてから早5年が経過しており、いよいよモビリティ業界という概念を理解する必要が出てきています。変化が求められている事実に向けて生き残る術を想像することが重要です」と警鐘を鳴らします。

具体的には、EVなどの開発が進み、電池が液体から全固体・全樹脂電池などの安定したものになると、低コスト・短時間での充電・航続距離の延伸・発火の危険性減少などの特徴により普及が進むことや、自動運転(自動運行装置)を整備するためにはAIやIT系の分野を理解する必要性・必然性がでてくること、ハードがモジュール化されることで钣金が減少する恐れがあることなど、起こり得る変化に目を向けることで、モビリティサービス

と言われる移動手段全体に関わるサービスの中で生き残るための具体策を想像し、資格取得や設備投資などの判断をしていかなければいけないと訴えかけます。そのための具体策として赤地社長は「備えるべき急務はZ世代の確保と柔軟な組織(思考)造り」だと、自身の考えを述べられました。

ソニーとホンダの手法を例に挙げ「畑が違う相手を尊重しあい、フィフティー・フィフティー。の関係でどこん理解し合う関係の構築こそ、今後我々が向き合わなければいけない課題ではないでしょうか」と講演を締め括りました。

冒頭、若松会長から「二世会の名称変更の議案が可決され、新しい名称はリーディング・マネージャーズ・グループの頭文字をとってLMGとなります」と報告があった



Advertisement for IYASAKA OBD diagnostic tool IS-J2534. Features include: 新発売 (New Release), OBD専用スキャンツール (OBD Dedicated Scan Tool), 車両に直接接続 (Direct connection to vehicle), and compatibility with Windows 10/11 and tablets. Includes an image of the device and a car.

オートアフターマーケット連絡協議会

# 各業界の動きから 次の商機のヒントを探る



定例会で挨拶を行う名誉会  
員の磯部理事長(BSサミ  
ット)と住野公一氏  
(オートボックスセブン)



1月24日(水)、東京国  
際フォーラムG501会議  
室(東京都千代田区丸の内  
3-5-1)にて「オート  
アフターマーケット連絡協  
議会」の理事会および20  
24年度1月定例会が開催  
されました。

## 2024年度1月定例会開催 名誉会員の磯部理事長と住野公一氏も参加

同協議会は、自動車アフターマーケットに関する幅広い事業者の情報交流の場を創出し、それぞれのビジネスの拡大や発展に向けた議論を行い、自動車ユーザーの便益拡大に寄与する活動を通じて社会に貢献することを目的に、2012年に発足。BSサミットの藤野利浩副理事長が代表理事を務め、現在はBSサミット事業協同組合、全日本オートス同友会、株式会社オートボックスセブンを始め、自動車アフターマーケットの各業界団体・企業など18社が会員として名を連ねています。

今年度の報告および、2024年度予算案オートアフターマーケットサミット2024の内容について協議が行われました。理事会後に行われた定例会は、同協議会の代表理事である藤野副理事長による「昨年はビッグモーターの件など問題が顕在化した一年でありましたが、今年は逆にアフターマーケットが伸びる良い年になったと思っております」との挨拶で幕を閉じました。

同協議会の代表理事を務める藤野副理事長  
「〜を〜していきましよう」と挨拶を頂き、同じく名誉会員の磯部理事長からは「恐らく明日には金融庁による損保ジャパンへの行政処分が出ると思っております。そのお達しを受けて各損害保険会社と新DRP制度の構築をしていきたいと考えています。ユーザーに納得してもらうためには、第三者機関が工場を選んできていくべきではないかと私は考えますので、今後各損害保険会社と話し合っていきたい」と今年の意気込みをお話し頂きました。

定例会では、同協議会が推進するプロジェクトの進捗説明と各会員から最新状況と業界動向の情報交換が行われました。BSサミット事業協同組合からは、金子幹司事務局長が最新状況として、1月10日に開催された2024年新春賀詞交歓会について、BSサミットからは支部長以上の組合員及び新組合員28社が参加し、その他ゲストとして国会議員、国土交通省、自動車メーカー、協賛会社など総勢330名の参加となった旨を報告しました。またトヨタ自動車「メカコミ」と契約し2月より組合員からの受付を開始すると発表しました。

# 自動車アフターマーケットの祭典 IAAE2024が開催



過去最大規模の開催  
約400社・700小間が集うビジネス交流の場

自動車アフターマーケットの祭典「第21回国際オートアフターマーケットEXPO2024 (IAAE2024)」が、今年3月5日(火)から7日(木)の三日間、東京ビッグサイト 南1~4ホールで開催となります。

IAAEは、自動車の整備・メンテナンスをはじめ、自動車を取り巻く環境・インフラなど、様々な自動車アフターマーケットに関する最新情報、業界動向について、セミナーや実演・展示などによって情報を発信する場として知られる、自動車アフターマーケットにとって有意義なビジネス交流の場を創出するコンベンションです。



昨年度のIAAE2023 BSサミットブースの様子

## BSサミットの先進的な取り組みをアピール

BSサミット事業協同組合としても、当組合の先進的な取り組みを業界関係者に広くアピールすべく今年も協賛会社各社とともにブース出展を行います。また、会期初日(3月5日)の13時から、『「DMS」の構築と「DRP」の再構築を推進〜モビリティドクター全国ネットワークが描く未来とは〜』と題したIAAE2024出展者プレゼンテーションを行います。

自動車ユーザー視点にたったお話をされます。また第二部には、イギリスの保険業界が投資する自動車技術研究所であるサッチャムリサーチのMiller Crockart氏が登壇し、欧州における修理の見積もりと損害保険金の関係性について情報提供も行われる予定です。

## 3月5日(火) C-13 13:00~13:45 ▶セミナー会場C

### BSサミット事業協同組合 「DMS」の構築と「DRP」の再構築を推進 モビリティドクター全国ネットワークが描く未来とは

BSサミットは自動車業界に強い向かい風が吹くなか、生き残りをかけて新しい展開を進めていきます。ユーザー・自動車メーカー・BSサミットの三者間利益を追求する「DMSの構築」と、ユーザー・損害保険会社・BSサミットの三者間利益を追求する「DRPの再構築」を推進するBSサミット事業協同組合が描く未来とは…。100年に一度の大変革期をともに勝ち抜いていく志高きメンバーを募集しています。

- |   |  |
|---|--|
| BSサミット事業協同組合<br>副理事長<br>組織戦略協議会議長<br>藤野 利浩氏 | BSサミット事業協同組合<br>専務理事<br>財務担当理事<br>黒木 康男氏 |
| BSサミット事業協同組合<br>教育統合プロジェクト長<br>小林 雅彦氏       | BSサミット事業協同組合<br>組合員拡充委員長<br>坂井 光藏氏       |

## 3月6日(水) A-21 10:30~12:00 ▶セミナー会場A

### DRPの終焉からはじまる車体整備の未来 〜自動車ユーザー視点で考える健全な業界構造のありかた〜

昨年のIAAE壇上で「日本版DRPの終焉」を予言したBSサミット事業協同組合の磯部理事長をお招きして、今後の展望をお話し頂きます。激変する車体整備業界の今後を考えるためにも重要な、自動車ユーザー視点に立って、ますます高度化する修理技術や設備への対応のみならず、業界構造のありかたについても考えていくプログラムです。実際に修理を行う事業者のみならず、自動車の修理を受け付ける立場となる幅広い方々にも聞いて頂きたい講演です。

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| BSサミット事業協同組合<br>理事長<br>磯部 君男氏 |  |
|-------------------------------|--|

### 欧州における修理の見積もりと損害保険金の関係性 〜Thatcham Researchから見た日本のあるべき姿〜 (仮)

- |  |  |
|--|--|
| Thatcham Research<br>Management Board, Chief Revenue Officer<br>Miller Crockart氏 |  |
|--|--|

全自動フロンガス回収機  
CS-YF134WS (2タンク型)

HFC-1234yf  
HFC-134a 兼用型

各種バッテリー完全対応充電器  
BR-MAX70IS

Brain Max  
アイドリングストップ  
MF/シールド、標準地

D.Cインバータースポット溶接機  
SW-VZ120

AXIS PRO  
超高温、ポロン機  
すべてに対応!

"明日をひらく"デンゲンの技術

# DENGEN

第27回  
車載通信のプロトコルは Ethernet の時代へ

拡大する電子制御  
車載通信に変化の波

OBD 検査の開始を今秋に控え、検査用スキャンツールを巡って車載通信ネットワークに関する議論が交わされるようになりました。現在、車載通信のプロトコルは CAN が主流ですが、新たなプロトコルとして有力視されているのが Ethernet (イーサネット) です。今回は、この車載通信プロトコルの基礎知識と Ethernet、そして OBD 検査における DoIP 方式について解説いたします。

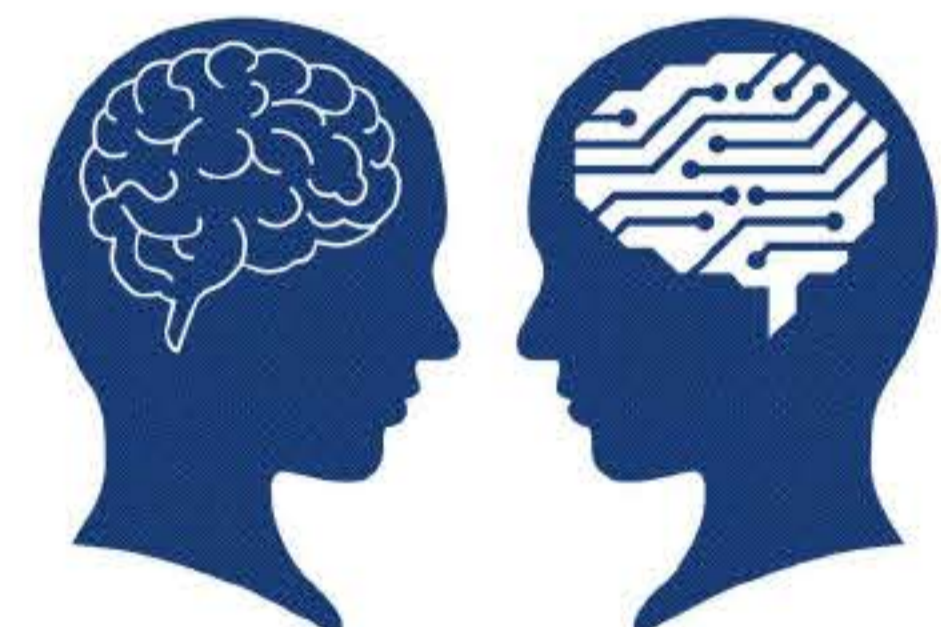


ステアバイワイヤ技術など、あらゆる制御が電子化されており、それに伴い ECU の数も増加しています。出典：日産自動車株式会社

ネットワークの言語  
CAN プロトコル

電子制御を行う、クルマの各部品やシステムには必ず ECU (Electronic Control Unit) が搭載され、それぞれの制御が行われています。エンジンはもちろん、ブレーキ、ステアリング、ADAS、そしてキーロックさえ、今や電子的なコントロールが行われているのが現状です。その仕組みは、まずセンサーが受けとった情報は信号化され、その信号を受信した ECU は内蔵するソフトウェアが作動を実行します。また、各 ECU は車載ネットワークを組み、それぞれ連携することで、複雑化する機能を支えています。つまり、車載ネットワークとは ECU 間の通信網というわけです。その通信を行うにはプロトコルが必要となります。人と人が、意思疎通をするには共通言語が必要のように、ECU 間の通信においても共通の言語が求められます。つまり、プロトコルとは言語のようなものといえるでしょう。

電子制御がはじまった黎明期の車載通信は自動車メーカーが独自に開発したプロトコルによって行われてきましたが、1980 年代後半にボッシュが CAN (Controller Area Network) を開発し、量産車への適用を進めたことで、標準規格 (ISO11898/ISO11519) となりました。現在、CAN は車載用プロトコルの代名詞ともなっています。なお、車載用プロトコルには CAN の他、LIN (Local Interconnect Network)、MOST (Media Oriented System Transport)、K-Line などがあります。



プロトコルはネットワーク通信における言語に該当します。

ECU の高度化と  
Ethernet の登場

2010 年代を境に、クルマは ADAS の搭載をはじめ、コネクテッド技術の実装など、高度化が急速に進展しました。このため ECU は高機能化し、故障診断などのデータ転送時間が増大したことから、大容量のデータ送信を可能とする Ethernet に注目が集まりました。元々、Ethernet は一般的なパソコンなどでインフラとして活用されているプロトコルで、車載用に利用できるよう最適化が図られています。最大通信速度が 1Mbps (Mbps は 1 秒間に送受信できるデータ量) の CAN に対して、車載 Ethernet は 100Mbps のデータ伝送が可能です。このため、Ethernet の採用は、大容量データの通信だけでなく、電気用配線 (ハーネス) の削減にも貢献するなど自動車メーカーの採用が進みました。まず、BMW が大容量通信を行うシステムに初採用したのを皮切りに、国産車では日産がプロパイロット 2.0 を搭載したスカイラインに、そしてトヨタはアドバンスドライブを搭載した MIRAI などの運転支援システムの領域で採用したといわれています。



ハンズオフ機能のシステムに Ethernet の採用が進みつつあります。出典：日産自動車株式会社

Ethernet の  
上位プロトコル DoIP

Ethernet の採用が増加する中、輸入車メーカーの一部では OBD II の通信に Ethernet を適用する動きがあります。情報量が増大し、CAN では対応できなくなっている状況がよいよ現実化してきました。Ethernet による車両診断情報の取得プロセスは DoIP (Diagnostics over Internet Protocol) 方式と呼ばれ、ISO13400 として標準規格となっています。この DoIP もプロトコルの一つであり、Ethernet の上位レイヤープロトコルに位置付けられます。複雑化するネットワークでは、階層が形成され、それぞれの役割があてがわれています。上位レイヤープロトコルはネットワークの階層の上位層に対し、より具体的な通信作業を行います。OBD 検査の場合、特定 DTC を照会する際は、特定 DTC 照会アプリを用いますが、DoIP は特定 OBD のゲートウェイとなっている J2534 を通じ、特定 DTC を抽出する手続きを働きかける役割を担います。2024 年 1 月現在、DoIP 方式を採用した OBD 検査対象車はメルセデス・ベンツの 6 型式です。国土交通省は国産車メーカーが DoIP 方式を OBD II に採用する時期について、2026 年頃と見込んでおり、DoIP 方式に対応した検査用スキャンツールが本格的に求められるのは、2029 年頃とアナウンスしています。



検査用スキャンツールを操作する様子。今後 ISO13400 対応機種が続々発売される見込みです。

BP経営マネジメントシステム

全国販売・保守サポート承ります！！

のお問い合わせは下記へ



コグニフで作成した見積書をベースに『工程管理』、『作業状況管理』、『売上粗利管理』、『担当者別売上管理』が実現します



【代車状況一覧画面】



【作業状況一覧画面】



【担当者作業状況画面】



Emotional Business Enhancer

EBE inc. 株式会社 EBE (イーバ)

東京都千代田区神田淡路町2-23-1 お茶の水センタービル4F  
TEL:03-5298-1851 / FAX:03-5298-1852  
http://www.e-b-e.co.jp/

月別リサイクルパーツ別実績 2023年11月～2023年12月(全国)

BSサミット 販売促進委員会

# リサイクルパーツ普及拡大に向けて 整備機器のリサイクルという観点でもカーボンニュートラルに貢献

事故車修理時のコスト低減は、損害保険会社やユーザーにとっても、ますますニーズが高まっております。BSサミットでは、環境負荷低減とともに、こうしたコスト削減に寄与することを目的として、販売促進委員会を中心とし、自動車補修部品のリサイクル促進を進めています。今後とも積極的なリサイクルパーツの活用をよろしくお願いいたします。

BSサミットではリサイクルパーツの利用促進をすることでカーボンニュートラルを推進してきましたが、この2月よりトヨタ自動車様が運営する中古整備機器の売買仲介サービス「メカコミ」に参加することで、整備機器のリサイクルという観点からも自動車整備業におけるカーボンニュートラルに貢献していきたいと考えております。組合員工場にとっても工場で使用しなくなった設備の売却や購入で設備投資の負担を軽減できるというメリットがありますので積極的な活用を推進してまいります。

※その他＝エンジン・ミッション・ラジエター・コンデンサー・コンプレッサー・フロントガラス等のリサイクルパーツ(新品パーツは除く)

内 訳	2023年		合 計
	11月	12月	
	数 量	数 量	数 量
フロントバンパー	333	279	612
リヤバンパー	180	184	364
ヘッドライト	426	380	806
ボンネット	146	132	278
フェンダー	307	321	628
ドア	482	481	963
トランクリッド・リヤゲート	130	138	268
テールランプ	321	276	597
その他*	2,213	2,380	4,593
合計	4,538	4,571	9,109

## ストップ! 粗悪修理!!

「ストップ粗悪修理」は、次世代自動車研究委員会や広報委員会を中心に収集している他社工場での粗悪修理情報を、BSサミットニュースやカーケアプラスなどのメディアを通じて公開しております。不具合車両の撲滅とユーザーへ安心と安全を提供すべく、本来あってはならない修理不具合・不正修理の現状・実態を明らかにし、適切な修理を行うことの重要性を呼びかけております。今後とも主旨をご理解いただき「修理不具合情報」のご提供をよろしくお願いいたします。

### 不完全修理例① 過去の修理で、衝撃を和らげるべき箇所が未修理!

リアーサイドメンバーは未だに座屈のままであり、リヤーフローパネルにおいても矢印部分に隙間が生じ、以前の事故で交換されたパネルも溶接点数が不足しており、強度が不十分です。さらに、防錆処理も不完全であり、数箇所錆が発生しています。この事例は後部衝突事故車でありながら、逆方向への衝撃を和らげるべき箇所が未修理であるというものです。幸運にも逆方向への衝突で人身傷害は発生していませんが、修理の品質に疑問符がつく事例と言えます。オーナーからの情報によれば、1年前に追突事故で保険修理が行われたとのことですが、作業された修理工場においてはその内容が不明であり、不正な修理以外の何物でもないと言言できます。高品質な修理が求められる中で、このような粗悪な修理が行われることは許容できません。



### 不完全修理例② リザーバタンクが固定されておらず、結束バンドで留められていた!

入庫した車を修理するためバンパーを外したところ、バンパーで見えない骨格部位が修理されておらず、表面だけの修理で終わっていた。不適切で無理やり修理された形跡などもある。リザーバタンクなどは確実な固定がされておらず、結束バンド紐のようなもので留められていた。再度、この車が事故を起こした場合、衝撃吸収も弱く、人身も含めた過大な損害が発生するものと推定される。また、機能部品の取付けも仮付状態であり、落下する可能性もあるため、危険な状態である。ユーザーに対して安心・安全な修理を提供する事は最も大切な事であると再認識していただきたい。



このような不具合車両をなくすために、皆様からの情報提供をお待ちしております。

## 自動車リユース部品の活用で CO<sub>2</sub>削減量の見える化を提供

# CO<sub>2</sub>



**自動車リサイクル部品 環境貢献証明書**  
(株)●●●オートサービス 様

貴社の自動車リユース部品利用に伴うCO<sub>2</sub>削減に下記のとおり貢献したことを証明いたします。\*\*\*

- リユース部品利用に伴うCO<sub>2</sub>削減貢献  
リユース部品利用点 : 10点  
CO<sub>2</sub>削減量 : 312kg

対象期間 : yyyymmdd ~ yyyymmdd

2024年●●月●●日  
NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合 株式会社 NGP

自動車リサイクルで  
あなたのSDGsの取組みサポート致します。

NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合 / 株式会社 NGP



自動車整備業に関わる皆さまのお役に立ち続けるため  
未来の地球環境を明るく照らし続けます。

さらなるCS向上へ向けたリサイクルパーツの提案に

リサイクルパーツ発注システム  
**Repairs Direct System**  
リパーツダイレクトシステム (RDS)

皆様も、安心して「リパーツダイレクトシステム」をご利用いただけるよう「BSネットワークコールセンター」の専任スタッフがお客様にご発注いただいたパーツの適合確認をさせていただきます。正確な部品発注をサポートしております。

自動車リサイクル部品のお問い合わせは  
**BSネットワークコールセンター**  
Tel.052-441-7503 (平日9:00~18:00) Fax.052-441-7628



株式会社ビッグウェーブ・株式会社 JARA は環境に優しい  
常に最高品質の自動車リサイクル部品の生産と販売に取り組んでいます。

# 島民のカーライフを守るため BSサミットが推進するDMS、に大きな期待を寄せる

組合員訪問

四国ブロック 香川・徳島支部 美島自動車株式会社

## 人口2万6千人の離島 小豆島で幅広い事業を行う



山下信康代表取締役

香川県・高松港から高速艇で約35分、船で約60分、香川県の離島。小豆島に今回の取材先「美島自動車株式会社」(代表取締役役：山下信康)はありま



美島自動車株式会社本社 & サービスセンター土庄



小豆島最大のショッピングモール「オリブタウン」内にある美島自動車展示場

取・修理・メンテナンスやトラックの架装・タンク等の荷台補強・鉄骨製作及び組立等、自社製作のキャンピングカーやキッチンカーの製作などを行う鉄工部門、さらには島内でコンビニエンスストア(セブンイレブン)を4店と100円ショップ(ダイソー)を営業するなど、より住みやすい小豆島を目指して様々な事業を行っているといま



①元々鉄工所だった工場は広く天井が高い  
②事務所は同社の鉄工職人がほとんどを作ったという



## 強みを持つことで 業容を拡大

同社の創業は今から59年前、起業を目指し大阪で修行をした先代の社長が21歳の時にバイクのパンク修理などからスタートし、その後乗用車やトラック、建設機械などの修理と様々なジャンルを続けることで徐々に成長してきました。最初から順風満帆という訳にはいかず、島で古くから整備業を営む業者などからの強い風当たりもあったと当時の様子について教えてくれました。



钣金塗装内製化に伴い導入した各種設備



松製作所のサブディーラーになったことで、小豆島は良質の花崗岩などに恵まれ、古くは大坂城の石垣に使われるなど石の産業が盛んな地域であり、建設機械に関する需要が多いという特徴があります。高額の建設機械を扱うリスクを負う勝負に出たことでこの分野で強みを持った同社は、平成4年にはコマツ製建設機械を中心に建設機械のレンタル事業を開始、翌年には同事業の拠点として新工場を建設と一気に攻勢をかけた。その後は、香川



同社がBSサミットに入会したのは平成11年、まさに同社が業容を拡大する中での钣金塗装部門を内製化するタイミングでした。内製化にあたり修行を行った先が主に輸入車を扱う工場だったこともあり、仕上がり品の品質や設備の基準は必然的に高まり、事業をスタートさせるタイミングから3次元計測器やフレーム修正機を導入していたとの



日産自動車株式会社の紹介で、コンビエンスストアをオープン、钣金塗装部門の内製化、リサイクル事業開始しました。

## BSサミット加入 ディーラーがない離島だからこそ

BSサミット加入のきっかけは、同社がBSサミットに入会したのは平成11年、まさに同社が業容を拡大する中での钣金塗装部門を内製化するタイミングでした。内製化にあたり修行を行った先が主に輸入車を扱う工場だったこともあり、仕上がり品の品質や設備の基準は必然的に高まり、事業をスタートさせるタイミングから3次元計測器やフレーム修正機を導入していたとの

## 人口減、クルマだけではダメ 外に向けた商売の必要性

創業を夢見た20歳そこそこの青年が立ち上げた小さな会社は、今や小豆島には欠かせない存在感のある企業にまで発展しました。自動車や建設機械の修理・整備・レンタルなどはもちろんのことですが、それ以外にもコンビニエンスストアや100円ショップの運営、また昨年までは過疎地への移動販売、そして観光客へのレンタカー事業など、その範囲は多岐にわたります。しかし、1990

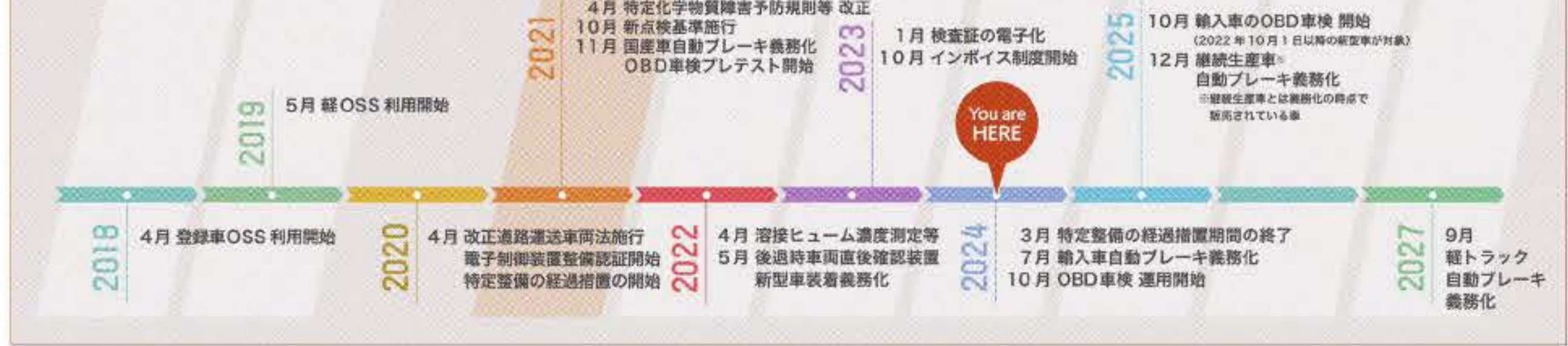


レストア中のハコスカ

下代表取締役は「今後も人口は減り続けますし高齢化も進むなかで、自動車だけでは難しいと思います。これからは外に向けて商売をしていかなければと考えており、まだ明らかにはできませんが色々とその準備を進めています」とさらに業容を広げていく方針について触れました。

## 自動車の進化に伴う様々な法改正

自動車業界 100年に一度の大改革期の真っ只中にあり、政府主導で自動運転技術や運転支援技術の普及を目的とした様々な法改正が続いています。そして今年2024年はいよいよ、特定整備の経過措置期間が終了し、OBD車検の運用が開始され、モビリティサービス事業者に求められるハードルは益々上がります。BSサミットは、モビリティサービスのリーディング組織として、時代の潮流を泳み様々な難局を乗り越えるべく、常に先を見据えた取り組みを行ってまいります。



革命はここから始まる!  
100年に一度の大変革期をともに勝ち抜いていく志高きメンバーを募集しています。  
BSサミット事業協同組合  
TEL:03-3538-2900 E-mail: honbu@bs-summit.co.jp  
http://www.bs-summit.jp